

カナダ水俣病 先住民の証言

報告交流会

2013年 **9/13** (金)

18:30-20:30 (18:00 開場)

連合会館 (旧 総評会館)

205 会議室 **入場無料**

千代田区神田駿河台 3-2-11

JR 御茶ノ水駅 聖橋口徒歩 5 分



カナダからの参加・報告者

ジュディ ダシルバ

パメラ マンダミン

ピーター カウチスキ

ソア アトキンヘッド

※ 報告には日本語通訳あり

基調報告

花田 昌宣

(熊本学園大学教授・水俣学研究センター長)

輸出される水俣病被害

パルプ工場が排出した水銀が広大なカナダの河川や湖水を汚染し、ネイティブ・カナディアンに健康被害が出ています。白人政府による土地収奪以来の先住民の苦難に水銀汚染や環境破壊が追い打ちをかけているのです。しかも、日本環境省が「輸出」した狭隘な認定基準が、被害民の水俣病診断を海の向こうでも阻んでいる事実を見ると、カナダと水俣の被害者の闘いは、軌を一にしていることに気づきます。

1975 年以来、水俣の患者や研究者はカナダの人々と交流・相互訪問を続けてきましたが、今般、カナダの被害先住民と支援者が熊本・水俣を訪ねます。ついでには帰途の東京でも、その 4 氏の報告を受けて交流の集いを行います。ご参集下さい。



問い合わせ先

東京・水俣病を告発する会

久保田：090-3533-4489

主催：チッソと国の水俣病責任を問うシンポジウム実行委員会

共催：熊本学園大学水俣学研究センター